

施策評価管理シート

2012(平成24)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
上下水道部	道岡 武郎	63-4114 経営総務室

施策体系	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	3	快適な生活環境づくり
	施策	2	上水道

1. 施策の基本方針

Plan

- ・ 基幹施設の計画的な整備、更新を進めるとともに、耐震性の向上など災害に強い水道施設を整備します。
- ・ 水道水源の保全や水質の向上に努め、安心して飲める良質な水を供給します。

2. 目標

重点目標

Plan

< 安定供給の確保 >

- ・ 名張市水道事業基本計画(計画期間平成32年度まで)に基づき、老朽化した施設の更新・改良を行い、安全で安定した水の供給確保に努めます。また、基幹施設の耐震化を進め、災害に強い水道を目指します。
- ・ 水質管理の充実に努め、安全で良質な水の供給を図ります。
- ・ 経営の効率化や財政面の安定化を図り、健全経営の推進に努めます。

目標達成に向けた課題

Plan

- ・ 国庫補助金など財源を確保し、計画的な施設の更新と耐震性を向上することが必要です。
- ・ 水質検査の迅速化や水質基準の強化など適正な実施に努めるとともに、市民への情報提供が必要です。
- ・ 水需要が減少傾向にある中、民間委託の導入や漏水対策など収益性を高め経費削減をさらに推進していく必要があります。

施策指標(目標)及び達成状況

Plan

Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
水道サービスの質と料金に満足している市民の割合 (%)	目標	-	-	-	-	56.0	59.0	
	成果	53.7	54.0	55.6	56.2			47%
老朽管改良率 (%)	目標	-	-	-	-	2.4	3.0	
	成果	1.7	1.9	1.7	2.3			46%
汚水衛生処理率 (%)	目標	-	-	-	-	93.0	96.0	
	成果	91.5	92.5	92.4	92.7			27%
総収支比率 (%)	目標	-	-	-	-	93.0	95.0	
	成果	100.3	100.7	98.2	96.1			79%

3. 取組内容

課題解決への取組内容

Do

- ・ 平成23年度は、富貴ヶ丘浄水場受変電設備更新工事、国津系遠方監視制御装置更新工事、梅が丘低区配水地劣化補修工事、桔梗が丘送配水管更新工事等の工事を実施し、施設の更新改良と耐震化を図り、安全で安定した水の供給に努めました。
- ・ 水質検査計画を策定し、適正に実施するとともに、ホームページで市民に公表するなど水質の安全性を高めました。
- ・ 上水道料金業務等について民間委託を開始し、人員削減と事務の効率化を推進しました。また、百合が丘第1、桔梗が丘第2配水系統の漏水調査を実施し、未然防止に努めました。

地域等との連携、協働に向けた取組

Do

- ・ 地域の団体や小学校からの依頼による施設見学の実施、中学生の職場体験学習など、安心で安全な水を作る過程を学ぶ学習の場を提供しています。また、出前トークにより地域や学校に向けて水の大切さなどの啓発を行っています。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 1 事業)

Do

Check

事務事業シート番号	事業名・担当室名		事業費 (単位：千円)		事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
			2010 (H22)	2011 (H23)			
7012	水道事業会計	経営総務室	2,044,392	2,029,633	継続(事務改善)	A	A
合計(単位：千円)			2,044,392	2,029,633			
小計(うち、一般会計分)			0	0			
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			2,044,392	2,029,633			

5. 部局による施策評価

Check

評価
計画どおり事業推進
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> 水道事業基本計画に基づき更新工事を推進することができました。水質検査計画を策定し市民に公表しました。老朽管改良率は、0.6ポイント上昇しました。 上水道料金業務の民間委託を実施し、人員削減と事務の効率化を図ることができました。

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

<ul style="list-style-type: none"> 今後も水道事業基本計画に基づき、施設の更新を図り、耐震化を高めていく必要があります。 水安全計画の見直しを図り水質安全管理体制の強化を図る必要があります。 水需要が減少傾向にある中、さらなる経営効率化を図るとともに料金体系の見直しが必要となっています。
--

7. 総合評価

評価
B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている
評価理由及びその他(意見)